



わたし
私たちが未来をつくる
ちから
力を合わせて世界を変える

平成29年度市民フォーラム「そして今人権・平和・環境を考える」

11月11日(土)、生涯学習セ

ンターさんあいホールで市民フォーラムが開催され、市内の5中学校、4高校の生徒の各代表がディスカッションをしました。

平和について考える活動や、他人のいいところを言い合う「よかとこみつけ」など、各学校が行っている活動の発表からさらに内容を深め、いじめの問題、障害のある人とのコミュニケーション、テロについてなど難しいテーマについても話し、「相手を知ることし、寄り添うことが大切」、「一人ひとりの力は小さくても集まれば世界を変えることができる」など、活発に意見を出し合いました。生徒たちは、「自分たちの学校での活動に生かしたい」と充実した表情で感想を語っていました。

筑紫野南中学校では、平成29年7月九州北部豪雨の被災地を支援するため自分たちの力でアルミ缶を集めてお金に換えました。中学生の力も、集まれば大きなものになります。



筑紫野中学校の「よかとこみつけ」は人に言われることで自分でも気づかなかった一面に気づいたり、他の人のいいところを見つけようとする積極性が生まれます。

